

● 現在の経営状況<sup>\*2</sup>

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	8.1 p	△ 8.6 p ↓
不動産流通業(住宅地)	1.2 p	2.4 p ↑
ビル賃貸業	22.2 p	7.5 p ↑

● 3ヶ月後経営状況見通し<sup>\*3</sup>

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	△ 5.0 p	△ 10.0 p ↓
不動産流通業(住宅地)	△ 9.3 p	△ 12.8 p ↓
ビル賃貸業	5.6 p	8.5 p ↑

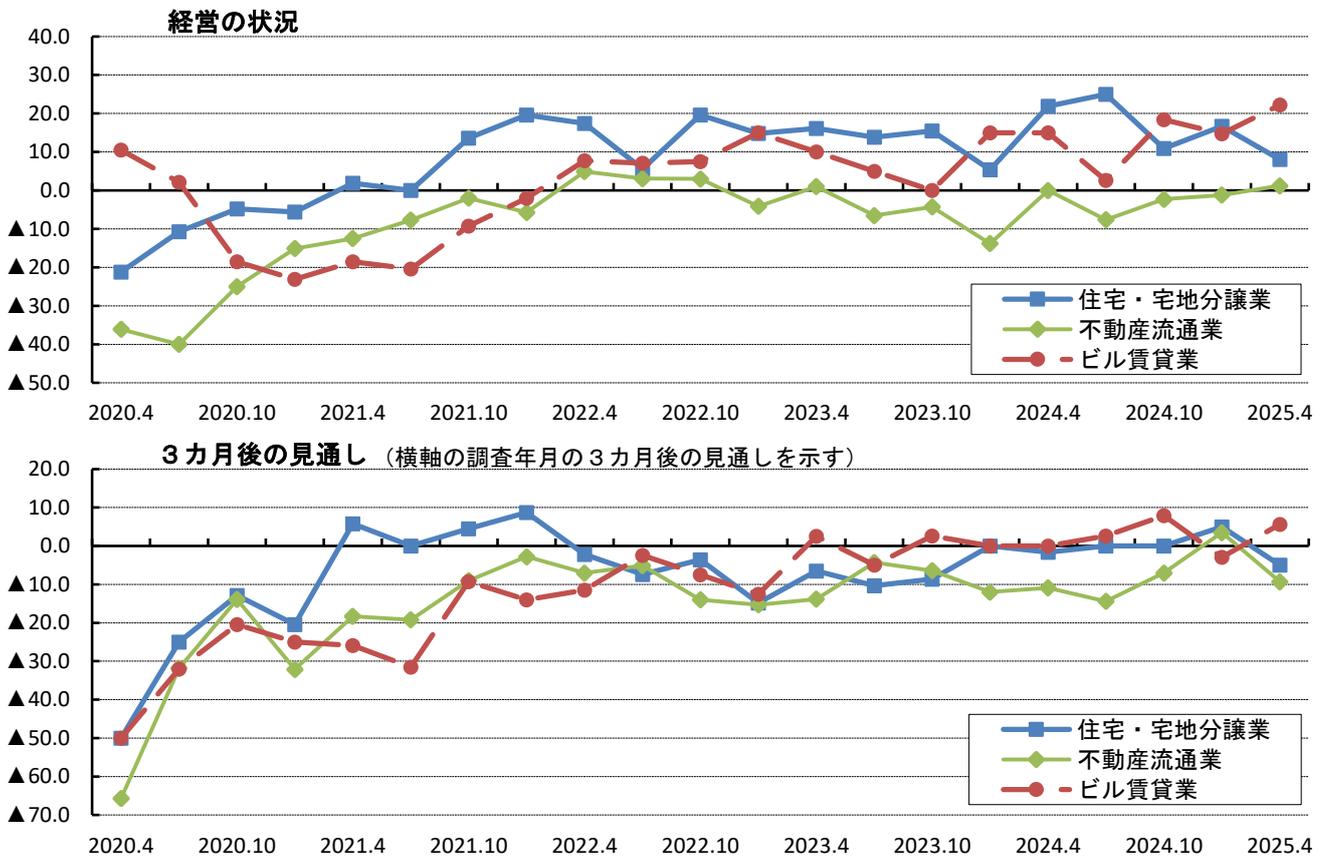
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から8.6p悪化し8.1p。17期連続のプラス水準。  
 不動産流通業は前回から2.4p改善し1.2p。4期ぶりのプラス水準。  
 ビル賃貸業は前回から、7.5p改善し22.2p。13期連続のプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業、不動産流通業で悪化、ビル賃貸業で改善、。

\*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

\*2 経営の状況＝{（「良い」×2＋「やや良い」）－（「悪い」×2＋「やや悪い」）}÷2÷回答数×100

\*3 3ヶ月後の見通し＝{（「良くなる」×2＋「やや良くなる」）－（「悪くなる」×2＋「やや悪くなる」）}÷2÷回答数×100（調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果 \(pdf\) ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第152号「不動産業業況等調査」